

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月27日更新

事務事業名	広域交流拠点構想推進事業					<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健康			所属部	市長公室		課長名	栗木 清智	
	施策	23	計画的な土地利用の推進			所属課	秘書政策課		担当者名	鷹巣 孝之	
	施策の柱	65	計画的な市街地の形成			所属班	秘書政策班		(内線)	1214	
予算科目	会計一般	款 8	項 4	目 9	事業連番 11807	根拠法令					
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 4 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成17年「合志市新市建設計画」で掲げたバイオフォレスト構想を実現するため、熊本県の主要産業である「農業」をテーマとし、民間企業の資金・ノウハウを活用した新たな施設等を、県内外のヒト・モノカネの流れを活活化させる「広域交流拠点」として整備を目指す。 なお、令和6年度より所管課を都市整備室へ変更する。
【業務の流れ】	構想の実現に向けたコンセプトの整理及び法整備について、関係機関と協議を行い、横断的に情報を共有しながら進める。
【主な予算費目】	委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	県農業公園、農業研究センター、農業大学校のエリアの活用を検討していたが、土地所有者である県から、当該エリアの活用は困難である旨が回答された。 今後、本構想の方向性も含めて検討を継続する必要がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	「広域交流拠点」構想に関する関係者との協議を行った。	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		構想の実現に向けたコンセプト及び法令の整理について、関係機関と協議を行い、横断的に情報を共有しながら進める。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ネットワーク形成		事業の見直しによる事業費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
県内民間企業等		→ ネットワーク参画機関数
		(単位) 者
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
当該構想に関する理解促進		→ 広域交流拠点構想の実現可否
		(単位) -
*③ 成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
事業を進めるうえでは地域及び関係機関との丁寧な協議が必要であることから当該指標を設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	4年度実績(決算)	5年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア	回	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	者	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	-	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	5,000	4,027	191				
		(A) 事業費計	千円	5,000	4,027	191	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	0	0	0	0	0
	延べ業務時間	時間	100	100	0	0	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	0	398	0	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,000	4,425	191	0	0	0	0	

事務事業名	広域交流拠点構想推進事業	所属部	市長公室	所属課	秘書政策課
-------	--------------	-----	------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒ 【原因】 構想の実現に向けたコンセプト及び法令の整理について検討を継続しているため。
	② 6年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 関係機関との協議を継続する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒ 【理由】 関係機関との協議を継続する。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由】 関係機関との協議の継続が必要であり、削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由】 関係機関との協議の継続が必要であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒ 【理由】 関係機関と協議を行い、横断的に情報共有しながら進めている。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒ 【理由】 関係機関と協議を行い、横断的に情報共有しながら進めている。

3 評価結果の総括 (CHECK)

構想の実現に向けたコンセプト及び法令の整理について、関係機関と協議を行い、横断的に情報を共有しながら進める必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>令和6年度より所管課変更 (都市整備室)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						